

vol. 158

発行日 令和6年2月1日
発行 社会福祉法人 天竜厚生会
発行者 山本 たつ子
編集 総務部 総務課

あかまつ



Focus 1
第48回 厚生会まつり
(P.5・6)



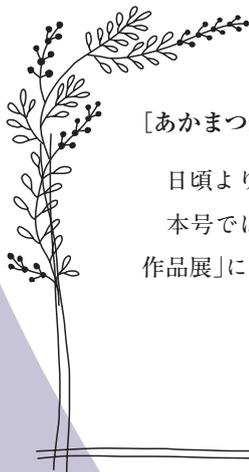
Focus 2
第53回 施設合同作品展
(P.7・8)



Akamatsu
vol. 158
2024.2.1

Contents

目次	1
新年のご挨拶	2
副理事長就任の挨拶	3
JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型) カンボジア王国幼児教育カリキュラムに基づく 「遊びや環境を通した学び」実践のための 基盤構築事業への協力について 訪日研修の実施報告	4
第48回 厚生会まつり	5
第53回 施設合同作品展	7
仕事の魅力紹介	9
内定式を開催しました！！	10
20歳を祝う会を開催しました！！	10
施設の活動紹介	11
【ナゾときカイゴ探偵団】の新人探偵が集結！カイゴ・パワーのナゾを調査！	13
園にて使用済み紙オムツの処分を開始しました	13
ソーシャルワーカー研修(基本的な接遇・マナー)	14
天竜厚生会職員の活躍を紹介します	14
今ふりむいて	15
苦情受付の公表について	16
善意の皆さま	17
介護福祉士実務者研修・喀痰吸引等研修のお知らせ	裏表紙



〔あかまつ編集後記〕

日頃より機関誌あかまつをご愛読いただきありがとうございます。
本号では、4年ぶりに通常開催できた「厚生会まつり」と同時開催された「施設合同作品展」について、p.5～8にて写真たっぷりでご掲載しています。是非ご覧ください。

広報委員





新年のご挨拶

理事長

山本 たつ子

はじめに

長かったコロナ禍からやっと抜け出せたかなと感じる1年でしたが、勿論終わりがあるのではなく、これからも様々な感染症に予断なく対応していきたいと考えております。皆様には、大変ご不自由をおかけしましたが、コロナ禍において得た多くの教訓のもと、平常で活動的な生活を維持していきたいと考えております。

厚生会まつりと理事長杯サッカー大会の開催

昨年10月29日、厚生会まつりを平常開催することができました。ご利用者・ご家族、また多くのボランティアの方々の参加を得て、コロナ禍前と同様の厚生会まつりを開催できましたことを大変嬉しく思いますとともに、ご協力下さいました多くの皆様に厚くお礼申し上げます。また、子育て支援事業部が例年取り組んでまいりました理事長杯サッカー大会は、道路事情や駐車場の問題もあり、厚生会まつりとは別日程の11月23日に開催いたしました。当法人が運営する認定こども園、保育園の年長児全員が参加するために午前の部、午後の部に分けての実施となりましたが、晴天にも恵まれ、多くの保護者の参加を得て開催できましたことを嬉しく、感謝しております。子どもたちが必死でボールを追いかける姿にその成長を感じ、胸の熱くなる思いでした。

令和6年度同時報酬改訂に向けて

さて来年度は、介護、障がい、医療の同時報酬改定が行われます。コロナ禍で混乱し、やっと収束の兆しが見え始めた頃に物価高騰のあおりを受け、すべての事業で財政的には難しい状況でした。聞けば介護保険関係施設の特に特別養護老人ホームの約6割が赤字決算と報道され、苦しいのは当法人だけではないと感じるところですが、来年度の介護報酬改定には一層注視していきたいと考えております。

人材確保と職場環境の整備について

取り巻く環境の厳しさの一方で、日々の支援は24

時間365日欠かせないものであり、人材確保が十分ではないときでも、職員が創意工夫して業務に取り組んでくれていることに、大変感謝しております。人材確保においても経費の高騰等、潤沢に確保することは、決して容易なことではありませんが、一層の創意工夫を重ね、鋭意努力していきます。また、ICTの導入はもとより、職員にとって働きやすい環境整備も必要であると感じております。20代には20代の働き方、30代には30代といった、世代における働き方の導入が必須であると感じております。

理事長職の退任について

最後になりますが、私も天竜厚生会に勤務して50数余年が経過し、理事長職としても10年以上働かせて頂きましたが、今年6月を以て退任致します。長く勤める中で、常に自問自答していたのは、「ふくしとはなにか?」ということです。慈善・慈恵から始まった我が国の福祉的な取り組みは、戦後の社会福祉事業法の制定により大きく変わりましたが、最も大きな変化とは、介護保険制度と障害者支援制度の導入による、いわゆる「措置から契約」へと移行したことであります。時代の変遷はあるものの、「九十九匹はみな帰りたれど、まだ帰らぬ一匹の行方訪ねん」の理念のもと最も困難にある人々を支援するこの考え方は、天竜厚生会創設以来、揺ぎ無い思想であったと感じます。しかしながら、気を付けなければならないのは、求められる支援は時代の流れの中で、変化していることです。その時代にあった福祉支援の中身を精査構築することが必要であり、我々が常に「ふくしとはなにか?」を模索する根拠は、ここにあるわけです。これからの当法人の歩みにおいて、この「ふくしとはなにか?」を模索し続けることは、不可欠な概念であると思います。

長い間本当にお世話になりました。改めて感謝申し上げますとともに、今後とも天竜厚生会へのご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

副理事長就任の挨拶

副理事長
伊藤 栄



令和5年12月より副理事長に就任させて頂くこととなりました。大役を担うには微力ではありませんが、当法人役員・先輩各位ならびに管理職をはじめとする職員の皆様のご協力を仰ぎ、職務に邁進していくことと致します。宜しくお願い申し上げます。

就任にあたりまして、現在の法人を取り巻く課題と今後の抱負につきまして一言述べさせていただきます。

■ 社会福祉法人の経営課題

介護保険法・障害者総合支援法の施行により、第2種社会福祉事業については、社会福祉法人以外の事業者が運営できることとなってから20年近く経過した現在においては、株式会社やNPO法人等の努力もあり、サービス提供事業所数が充足しつつあり、地域によっては供給過剰の状態にまで発展しています。

このような状況の中、「社会福祉法人」としては、社会福祉法人以外の事業者が提供するサービスで地域ニーズが継続的・安定的に充足できていれば、当該事業から撤退し、新たな地域課題(少ないニーズ・現法にない狭間のニーズ)に積極的に事業転換していくべきものと考えます。実施事業の統廃合・縮小については、潜在するニーズを的確に把握し、迅速に対応していかなければなりません。しかし、サービス提供事業者が少ない、または無い地域での現行実施事業については、縮小はあれども撤退することはありません。社会福祉法人の本旨を全うするため、ニーズの変化に対応する新規事業の実施に係る事業体制・組織体制の変化(改革)を恐れてはならないと強く感じます。

■ 今後のあり方(抱負)

地域共生社会の実現が大きく取り上げられてから10数年が経過した現在、「地域の社会資源が分野を超えて繋がり、困っている人を支援する」という大義の実現の意味は更に大きくなっているものと考えます。

サービス提供事業者が増加するのに伴い、サービスを必要とする対象者ごとに事業者が分かれることとなり、ご利用者やそのご家族及び地域で相談等に関わる民生児童委員・自治会の方々に窓口が分かりにくく、繋がりにくくなっているものと感じます。これらを打開していくためには、各法人人間の「事業連携」と「事業情報の共有化(各法人の強みと弱みの認識)」が不可欠であり、その構築が最優先事項であるものと考えます。各法人人間の「連携」ができてこそ医療・教育分野および地区社会福祉協議会・利用者団体等との協同への一歩が踏み出せるものと思われまます。

まずは、当法人内の介護(高齢者・障がい児者)・子育て・生活困窮支援・医療・公益部門間の有機的で実効的な事業連携体制の更なる進展を図ります。

改めまして、本法人で働く職員全員が自らの精神的・技術的な成長を実感しながら「自負心」や「やり甲斐」をもって働き続けることができるよう、またそのことにより地域社会に確実に貢献し続けることができる法人づくりに尽力していきたいと考えます。今後ともご指導の程、宜しく申し上げます。

JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型) カンボジア王国幼児教育カリキュラムに基づく 「遊びや環境を通した学び」実践のための 基盤構築事業への協力について 訪日研修の実施報告

チームカンボジア



プレクノレン中央幼稚園
園長
メイ・チャニー

令和5年9月8日～15日、カンボジア王国のタスクチームメンバー(国・州の職員、対象地域幼稚園教諭)を迎えて訪日研修を実施しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで研修を行いましたが、本年度からは制限が無くなり実際に子どもたちと触れ合いながら研修を実施することができました。研修に参加したプレクノレン中央幼稚園メイ・チャニー園長から感想をいただきましたので、紹介させていただきます。

訪日研修に参加して(実習園：子育てセンターとみがおか・子育てセンターやまびこ) シャンティ国際ボランティア協会(訳)

訪日研修に参加して、子どもの自発的な遊びや保育者による適切な環境設定は、子どもの心身の発達にとって不可欠なものであると学びました。子どもは遊びの中で、勇気を持つこと、主体的に行動すること、協力すること、最後までやり遂げることなどの力を身に付けていきます。

日本の幼児教育の現場を訪問し、子どもたちが主体的に行動してとても勇敢であること、保育者が常に子どもたちの状況を確認して、言葉や気持ちを受け止めていることに感銘を受けました。また、保護者が園と協力し、園に対して信頼を持っていることも素晴らしく、とても質の高い幼児教育環境であると思いました。

日本に初めて行きましたが、皆さん親切で、お互いを助け合っていること、一生懸命仕事に取り組んでいること、食べ物も環境もとても衛生的であることが印象的で、日本の文化や生活からの学びもありました。

この研修に参加できたことに感謝し、たくさんの学びをカンボジアの幼児教育に反映したいと考えています。具体的には、自分の幼稚園で、①年間、月間、そして日々の活動計画の中に遊びを積極的に取り入れていくこと、②遊びを通した学びの重要性を周りの教員に広



▲歓迎会でのカンボジアタスクチームとチームカンボジア集合写真
前列左から3人目が教育青年スポーツ省幼児教育局ブルク・コサル局長、その右隣が天竜厚生会山本たつ子理事長

げていくこと、を実践していきます。

素晴らしい経験や知識をくださった天竜厚生会の皆様に感謝しています。私は、この経験のすべてを自分の園や同じ郡にある他の学校、教員に伝えていくよう最善を尽くします。本当にありがとうございました。

訪日研修スケジュール

日	曜日	研修内容	見学・実習施設
9/8	金	日本着、天竜厚生会研修センターにて宿泊	
9/9	土	見学・講義	子育てセンターにいじろ
9/10	日	休日	
9/11	月	施設実習・講義・実習説明	子育てセンターなかぜ 子育てセンターとみがおか
9/12	火	施設実習・振り返りワーク	子育てセンターみゆうのおか 子育てセンターやまびこ
9/13	水	施設実習・振り返りワーク	子育てセンターみゆうのおか 子育てセンターやまびこ
9/14	木	施設実習・振り返りワーク	子育てセンターみゆうのおか 子育てセンターやまびこ
		浜松市長表敬訪問・文部科学省訪問	
9/15	金	訪日研修報告会	
9/16	土	帰国	



▲実習先で子どもとふれあうチャニー園長

第48回 厚生会まつり

～この場所で 輝く笑顔に また会える～

新型コロナウイルス感染症の影響による中止や縮小開催を乗り越え、4年ぶりに通常開催することができました
当日は天気に恵まれ、ご来場いただきました方々の多くの「輝く笑顔」に出会うことができました



カイマナ・スクールオブフラによるフラダンスショー



浜松積志ノースカイトによる一輪車披露

【第48回厚生会まつり概要】

日 時	令和5年10月29日(日)10:00～15:00	場 所	天竜厚生会研修センター前広場周辺
来場者数	5000名(主催者発表)		
協 賛	公益財団法人静岡県予防医学協会		
後 援	浜松市/浜松商工会議所/浜北商工会/天竜商工会/ 天竜区観光協会/浜松市社会福祉協議会/静岡銀行天竜支店/浜松いわた信用金庫於呂支店		



会場の様子



ホスピタルクラウン

当日、会場まで足を運ぶことが難しいご利用者のために「ホスピタルクラウン」が施設内を巡り、盛り上げました。またステージの様子をリアルタイムで配信し、施設内でも楽しめるようにしました。



ご利用者カラオケ大会



小沢あきこさんの歌謡ショー



家康くんふわふわ



浜松市立清竜中学校・浜松市立光が丘中学校 吹奏楽部



あべ静江さんの歌謡ショー



職員も楽しみました



静岡県立浜北西高等学校 吹奏楽部

第53回 施設合同作品展

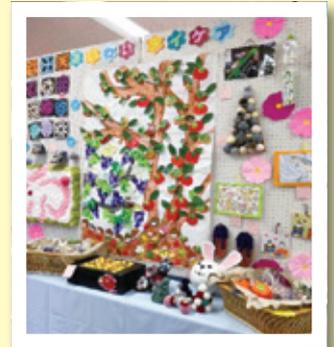
令和5年10月16日～10月29日に施設合同作品展を行いました。障がい関係施設、高齢関係施設、子育て関係施設と合計339点の多彩な作品が展示され、ご家族や地域の方にもご来場いただきました。秋をテーマにしたものや、徳川家康をテーマにした作品など迫力ある作品が並び、作品の制作や工夫された展示などアイデアがあり見ごたえがありました。来場された方からは、「素敵な作品ばかりで心が温かくなりました」など、たくさんのコメントが寄せられています。



作者のコメント

「大きな作品をみんなで作りました。紙をちぎって貼ることが楽しかったです。」

美浜 ご利用者一同



開場式の様子

10月16日に開場式を行い、園児代表・ご利用者代表・理事長でテープカットを行いました





作者のコメント

「2か月間みんなと制作をがんばりました。
糊付けが一番大変でした。」
厚生寮 2Fご利用者一同



閉場式・表彰式の様子

10月31日に
閉場式を行い、
各賞の受賞者を
表彰しました



一部の展示作品は、ホームページで公開しております。
こちらからご覧いただけます。▶▶▶



お問い合わせ先

福祉サービス課 ☎053-583-1123

仕事の魅力 紹介

おいしい食事で
笑顔を増やしたい

給食事業課
調理員
安達 正樹

これが私の仕事!

給食を作ることはもちろんのことですが、ご利用者の健康状態に合わせた食事の形態加工も行なっています。その他にも食事配膳から配膳、食器洗浄など食に関する様々な仕事があります。ご利用者のQOL向上に寄与するため、他職員と協力してこれらの仕事に取り組んでいます。

仕事のやりがい

食事配膳のため施設に出向いたときに、ご利用者から「今日の給食おいしかったよ!」と直接声をかけていただけることがあります。そういったお言葉をいただけることが日々の仕事の活力となっています。

これからの目標

皆様がいつまでも健康に過ごせるように、一人ひとりのニーズに合わせた安心安全でおいしい食事を提供できるよう研鑽を重ねたいと思います。



この職種を選んだ理由

料理が好きなことに加えて、祖父母の介護をする両親の姿を見てきたことが大きな理由です。生活の大事な要素である食の面からご利用者をサポートしていきたいと思い、この仕事を選びました。



印象的だったエピソード

新型コロナウイルス感染症対応のため、食事をタッパーに詰めて提供したことです。約3か月間、毎食最大180食を30分で盛り付けるという大変な仕事でしたが、どんな状況下でも皆で協力すれば乗り越えられるという貴重な経験ができました。



就労支援事業所みのりの食堂にてご利用者と



煮物の調理の様子



ソフト食の胡瓜の和え物を調理している様子



洗浄棟で食器洗浄している様子

内定式を開催しました!!

人事課
事務員

川村 美帆



昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、「オークラアクトシティホテル浜松」にて内定式を開催いたしました。本年度は45階スカイバンケットで実施し、当日は夕日と夜景を楽しみながら開催できました。内定式は内定者にとって同期となる仲間との顔合わせの時間です。当日は皆さん緊張した様子でお越しいただきましたが、会が始まると、笑顔がみられ食事を楽しみながら参加されていました。当日の感想も少しご紹介します。



職員の皆様、同期と良い時間を過ごすことができたこと、とても嬉しく思います。入社への気持ちを高めることができました。

総合職内定：日本福祉大学 榎下 美月

内定式では、これから共に働いていく仲間や先輩と初めて顔を合わせましたが緊張の中にも少し落ち着けるような雰囲気を感じました。

介護職内定：静岡県立富岳館高等学校 佐野 愛花音

初めはとても緊張しましたが、先輩や同期と会話を通して、これから働くことが楽しみになりました！

保育職内定：豊橋創造大学短期大学部 熊切 真央

引き続きサポートいたしますので、内定者の皆さんにおかれましては、お気軽にご相談いただき、入社後も共に頑張りましょう！



▲集合写真

20歳を祝う会を開催しました!!

総務課
事務員

前島 貴和子



令和6年1月10日・12日に「20歳を祝う会」を開催しました！山本理事長と伊藤副理事長が各施設を訪問し、20歳を迎える9名の職員をお祝いしました。

当日はご利用者や職員も大勢参加してくださる施設もあり、賑やかな雰囲気でお祝いをすることができました。皆さまの今後の更なるご活躍を期待しております。



▲しんばらの家



▲浜名

20歳を祝う会の様子は、誌面に掲載できなかった他の施設も含め、ホームページのお知らせにて掲載しておりますので、是非ご覧ください。



みんな元気、みんなの笑顔

施設の

子育てセンターなかぜ

畑はなかぜの宝物

シロツメクサいっぱい



どっちが高いかな？



ひまわりが咲いたよ

できた、できた



当園の園舎裏側には地域の方からお借りしている畑があります。

春はシロツメクサに囲まれ、チョウチョを追いかけ、夏は真っ黒になって泥んこ遊びをし、秋はみんなで芋ほりをして焼き芋、冬は凧揚げやマラソンをします。また、季節の野菜も育てています。

ドキドキワクワクが詰まった当園の畑には0歳児のもも組さんも行きます。でこぼこの土の上をよちよちと歩いては転び、また少し歩いては転び、自然と足腰が丈夫になっていきます。

「やってみたい」と心を動かされる実体験ができる畑が子どもたちは大好きです。

子育てセンターさやのもり

絵本『どうぞのいす』を通じて

絵本に登場する「どうぞのいす」です



果物を使ってジュースを作ろう！

もも味にしようかな～



ある日、「どうぞのいす」の上に森の果物が届きます…！

“紙漉き”って不思議！



当園では「自己肯定感・貢献感・感謝の気持ちを育む」を教育・保育目標としています。本年度の3歳児クラスでは子ども達が大好きな絵本『どうぞのいす』を活動に取り入れ、絵本に登場するうさぎさんとのやり取りを積み重ねています。

お部屋に置いてある「どうぞのいす」に森の果物に見立てた花紙がうさぎさんから届き、子どもたちは本当にうさぎさんにもらったかのように喜び、その花紙をペットボトルの水に溶かしてジュースを作ったり、沈殿する花紙を再利用して紙漉きをし、花作りを行いました。そして出来たお花は、「どうぞのいす」のうさぎさんに“ありがとう”とお返しをしました。

様々な体験の中で、“どうぞ” “ありがとう”を繰り返し、思いやりや感謝の気持ちが育まれる活動となりました。

紙漉きで出来たお花を廊下に掲示しました。うさぎさんがこっそり見に来てくれたようです。うさぎさん、ありがとう！



活動紹介

体験して発見の毎日!

天竜厚生会 アクシア 藤枝

アクシアまつり

ご家族、地域の方と
交流ができる貴重な
機会となりました



当施設では毎年9月にアクシアまつりを開催しています。本年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりにご家族を招待して開催でき、ご利用者の皆様の嬉しそうな表情が多く見られました。

当日は天候にも恵まれて晴天の下、地元の藤枝太鼓による大迫力の演奏により、まつりを盛り上げていただきました。

また、当施設は本年度で開設から10年目となりました。会場には開設から現在に至るまでの写真を展示し、ご利用者・ご家族・職員ともに思い出を懐かしみました。

しらいと

行楽ぶどう狩り

なんだか
得をした気分!!



法人本部にある大型バスで、山梨県甲州市勝沼町のぶどう園「古柏園(コハクエン)」に行きました。当日は天候にも恵まれて秋晴れの中、ぶどうの木の下で郷土料理であるほうとうや幕の内弁当を味わった後に、色々なぶどうを食べ比べました。道中にある「道の駅なるさわ」では、好きなお菓子を購入して楽しい一時を過ごしました。

今後も施設行事や行楽、慰問活動を通して日々の生活に楽しみを持てるように支援を続けて参ります。

【ナゾときカイゴ探偵団】の新人探偵が集結！ カイゴ・パワーのナゾを調査！

人事課
主任事務員

櫻田 直希



静岡県との共催で介護のしごと体験事業「ナゾとき・カイゴ」を開催しました。当企画は「学童期から介護に楽しみながら触れる機会を設け、介護の仕事への興味・関心を深める」ことを目的とし、小学3、4年生を対象に「5組14名」の生徒(未就学児含む)と保護者の皆様にご参加いただきました。

プログラムは、参加者が【「ナゾときカイゴ探偵団」の新人探偵として、超高齢化社会を支えるカイゴ・パワーのナゾを調査する】設定のもと、4つのミッション「高齢化の状況や介護のクイズ」、「高齢者施設の見学」、「介護機器の体験(移乗サポートロボットHUG・電動歩行器)」、「職員へのインタビュー」を実施しました。各体験を通じて「介護」について楽しそうに学んでいる様子が大変印象的

でした。また、私自身も楽しみながら運営することができたとともに「介護」を平易に、ポジティブに発信することを考える良い学びの機会となりました。今回の体験を通じて、参加者の皆様が「介護」について考えるきっかけになれば大変嬉しく思います。

最後になりましたが、当企画の広報にご協力をいただいた学校関係者の皆様に御礼申し上げます。今後とも当法人における取り組みへのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



▲みんなで集合写真！

園にて使用済み紙オムツの 処分を開始しました

子育てセンターきぶね
園長

小塩 美貴子



天竜厚生会の子育て支援施設は園児が安心して生活できる場を目指し、日々、環境の見直しを行っています。その一環として、毎日使用する紙オムツの管理について検討して参りました。

これまで紙オムツは、家庭から持参していただき、毎回使用済みの紙オムツを持ち帰っていただいております。また職員は、使用後の紙オムツ返却のため、入れ間違えないよう十分に注意を払い仕分け作業を行って参りました。

令和5年9月より、園で使用した紙オムツの一斉回収を天竜厚生会の全園で開始しました。保育室での汚物の匂いの心配もなくなり衛生面の課題も解消され、保護者の方々からも帰りの荷物が減ったと大変好評です。

また、仕分けの作業が削減されたことにより職員の業務改善となり、園児たちと関わる時間の確保に繋がりました。

今後も、業務を見直しながらより良い環境となるよう、取組んで参ります。



▲これまでのオムツ仕分け作業の様子



▲新たに購入したオムツ用のゴミ箱

通所支援課 主任
ソーシャルワーカー

小木 磨美

就労支援課 主任
ソーシャルワーカー

横島 彩乃



ソーシャルワーカー研修 (基本的な接遇・マナー)

毎年、高齢施設及び障がい施設のソーシャルワーカーを対象に研修を開催しています。本年度は、「基本的な接遇・マナー」というテーマで開催しました。

日頃、ご利用者やご家族、外部関係機関等、様々な方と接する機会が多いソーシャルワーカーにとって、コロナ禍の約3年間を経て、関係者と接する機会が増加してきた今、これまで以上にコミュニケーション力が求められます。改めて接遇やマナーに関する研修の必要性を感じ、本研修を計画しました。

株式会社はあもにい 代表取締役 大野晴己氏による、「福祉」の視点も取り入れた接遇・マナーについての講

義とグループワークを行いました。

受講者から、「これまでは他職員の対応を見て参考にしていた」や「何となく独学で行っていた」とのコメントがあり、大変勉強になったとの意見が多くありました。

研修で学んだことを業務の中で実践し、さらなる接遇・マナーの向上に努めていきます。



▲研修の様子

天竜厚生会職員の活躍を紹介します

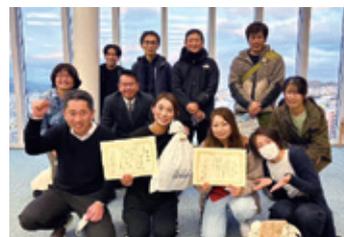
ケアコンテスト特別賞受賞！

登呂の家主任ケアワーカーの小川弥紗子さんが11月25日に令和5年度第10回静岡県介護技術コンテストに参加し、日頃の技術を披露してくれました。

コンテストでは登呂の家グループのケアプランが静岡県介護福祉士会審査員特別賞をいただきました！



▲コンテスト中の小川ケアワーカー



▲応援団とともに

知的障がい者サッカー女子日本代表に選出されました！

赤石寮ケアワーカーの堀内美咲さん(ジュビロ磐田ルナソルジャス所属)が、アラブ首長国連邦ドバイ首長国での交流プログラムに参加する知的障がい者サッカー女子日本代表として選出され、2023年12

月2日～12月10日の期間、アラブ首長国連邦ドバイ首長国で交流試合に参加しました！交流試合を終えた堀内さんにインタビューさせていただきました。

Q1. 交流試合を終えた今のお気持ちを教えてください。

3試合全てに出場しましたが、1試合目と3試合目は短い出場時間だったのでもう少し出たかったです。2試合目は自分の思うようなプレイができ、勝つことができたので良かったです。

Q2. 今後の目標を教えてください。

もう一度日本代表に選ばれることです。まずは体幹を鍛えることと基礎スキルを身に着けることに取組みたいと思います。



▲出発前に理事長から激励の言葉をいただきました。(左から赤石寮清水施設長、堀内美咲さん、理事長)

今年度定年を迎える方に
一言頂きました

当法人で過ごした日々に感謝

私は、平成3年4月に当法人に入社し、貴布祢保育園(現子育てセンターきぶね)の0歳児クラスで1年間お世話になりました。「先生」と呼ばれることがむず痒かったこと、3つ子ちゃんのお世話をしたこと、生き生きとした保育士の皆さんの姿がとても印象的でした。

翌年から翠松苑に配属され、病院経験しかない私が、未知の「福祉の中の医療」に飛び込み、様々な疑問が生じる度に確認しながら業務にあたりました。当時は必要最低限の「生活の場」での医療でした。翠松苑では、「多職種連携」の重要性、「協調性」を学び、行楽の付き添いやクリスマス会参加等、楽しく仕事をさせていただきました。ご利用者に寄り添う時間も今よりは多かったように記憶しています。

平成9年有床診療所天竜厚生会診療所(以下「診療所」という。)開設に伴い、診療所病棟に配属され



健康医療課長
兼 看護師長
村上 美智子

ました。湯浅医師、浅野医師、レントゲン技師が就任され、内視鏡検査をはじめ様々な検査、治療が始まり、その後医師の増員もあって施設の医療行為も年々増加しました。立ち上げ当初の夜勤は、看護師1人、ケアワーカー1人で仮眠時間はあったものの、心配でほぼ寝ずの夜勤をしたものです。33年間を振り返ると、大半を診療所で過ごしてきました。充実した日々の中で過ごした診療所は、先生方、同僚との思い出で一杯です。

平成26年、診療所事務長職を命ぜられ、看護師から管理職になりました。上司や先輩管理職、職員の皆様に助けられ、これまで務めさせていただいたこと、心からお礼申し上げます。

最後に、ずっと私を支えていただいた渡邊房枝氏(元常務理事)には感謝の念で一杯です。ありがとうございました。

Thank you for everything・・・

山村三郎事務局長・大石勝馬事務局次長の面接でスタートした天竜厚生会。貸方・借方、貸借対照表?何の知識もなく会計課配属。初めての日直の相方だったちょっと風変わりな人と結婚、長女出産。当時は産後8週で復帰し時短もない中、無我夢中で日々を送りました。

その後、研修課では年間6,500人を受け入れていた福祉教育を中心に、小学生のための福祉教育ハンドブックやボランティアマニュアル『手と手』等の作成・天竜市浜北市民意識調査・ヘルパー研修等々…10余年、知らない間に娘は大きくなっていました。

二女を出産して2年後の平成11年、赤松寮へ異動。ご利用者との一泊旅行は新幹線で京都・飛行機で札幌へ行こう、牝山羊を飼おう、機織りをやろう…と山本一正施設長は常に新しい発想とご利用者本位の支援を問いかけ続けてくださいました。



清風寮
事務員
伊藤 有美

遅番の朝、娘の小学校で読み聞かせをしていたのもこの頃です。

平成20年9月に異動したしんばらの家では、齊藤和明施設長の「丁寧にやろう」を合言葉に、人生の先輩方から多くのことを学ばせていただきました。

また、この間、書や生け花・水墨画・油絵・自由律俳句・蕎麦打ち等をしてきました。祖母から「何でもやりなさい。重荷にはならないから。」夫から「結婚を理由に止めるのは勿体ない!」と言われたことが続いた理由のひとつかもしれません。

子育てセンターすぎのこや社会福祉法人七恵会ながかみこども園で続けている書初めや生け花のボランティアも20年を越えました。詠んだ俳句を墨で表現し活けた花の傍らで打ちたての蕎麦を食す…これからも大切に創っていきたい空間です。

40年以上の長きにわたり関わってくださった多くの皆様、素敵な時間をありがとうございました。

苦情受付の公表について(定期報告)

原則として、令和5年8月～令和5年11月までに、当法人にいただいた苦情等は次のとおりです。
貴重なご意見ありがとうございました。

- ◆受付件数 ○法人全体：87件（うち公表可47件）
- ◆主なサービス種別ごとの受付代表事例

障がい者関係事業 20件（うち公表可11件）

施設名	天竜厚生会アクシア藤枝	是正日	令和5年8月18日
件名	外泊時に傷があったが事前に説明がなかったことについて		
ご意見/ご要望の内容	外泊時に、左肩に噛み跡を見つけたが事前の説明がなかった。また以前に比べ痩せているように思うが、食事を摂れているのか知りたい。		
対応内容	ご家族には事前に身体状況や体調についてお伝え出来なかったことを謝罪しました。原因として、外泊時には体調を含め最近の様子をお伝えすることになっていましたが、伝達することを失念してしまいました。是正として、各会議内にて外泊時対応手順書を再度職員に周知し、特に体調や体の変化については必ずご家族に伝達するよう確認しました。		

高齢者関係事業 17件（うち公表可8件）

施設名	百々山	是正日	令和5年8月4日
件名	目薬を誤って破棄した報告が遅かったことについて		
ご意見/ご要望の内容	先ほど誤って目薬を破棄してしまったとの連絡を受けたが、夜の点眼薬のため、もっと早く気付いていたのではないかと。破棄してしまったことは仕方ないが、早めに連絡をもらえていれば日中病院に行き処方してもらうことができた。早く連絡をもらいたかった。		
対応内容	ご家族には経緯の説明と対応が遅くなったことについて謝罪をしました。原因として、緊急時の連絡や報告を行う際には一度ケアマネジャーを通して連絡することになっていましたが、ケアマネジャーに連絡をしたところ、お休みであったことや他の業務をする中でご家族への連絡が夕方になってしまいました。是正として、事前に取り決めた連絡方法で連絡が困難な場合は直接連絡するようにしていきます。また、早めの連絡が必要な場合は後回しにせず、速やかに行うようにしていきます。		

地域福祉関係事業 20件（うち公表可8件）

施設名	地域包括支援センター北遠中央	是正日	令和5年8月31日
件名	訪問の約束時間に来ないことについて		
ご意見/ご要望の内容	12時から家で待っているが、地域包括支援センターの人が来ないため、どうなっているか確認してほしい。		
対応内容	8月30日にA職員が「8月31日の12時からの訪問を15時に変更してほしい。」と連絡を受け、8月31日にB職員が「やはり本日の訪問を12時からでお願いしたい。」と連絡を受けました。訪問予定であった担当職員へ「B職員」、「A職員」の順で報告し、連絡を受けた順でなかったため、15時からの訪問と認識していました。また、ご家族から連絡のあった日時まで確認しなかったこと、すぐにご家族へ確認の連絡をしなかったことも原因です。申立者には、担当職員から謝罪をし、予定していた8月31日の別の時間に調整ができなかったため、改めて日程調整をして後日訪問しました。今後は、伝言を報告する際、受ける際は、連絡のあった日時を確認していきます。また、複雑な変更の場合は、ご家族へ確認の連絡を行うようにします。		

子育て関係事業 10件（うち公表可8件）

施設名	天竜厚生会ささえ	是正日	令和5年10月13日
件名	リュックに水筒が入っていない件について		
ご意見/ご要望の内容	リュックの中に水筒が入っていない。事業所に忘れていないか。		
対応内容	施設内の検索をしましたが見つからず間違って本児の水筒が入っていないか、他の当日ご利用者に電話で確認をしたところ、別のご利用者の荷物の中に入っていたことが判明しました。その後、間違って入れてしまったご利用者宅へ訪問し水筒を回収し、本児のご自宅へお届けしました。本児保護者へ謝罪と是正についてお伝えし、対応へのお礼と了承をいただきました。10月の事業所開所後初めての休日体制であり、職員側の業務日課が明確に体制化されていなかったため、業務体制の中に「帰りの支度」の時間を入れ、職員側も気持ちにゆとりを持ちながら物品の確認ができるようにしました。また、同日に同色の水筒を持参している児童も多く、記名状況などの確認が不十分なまま思い込みで本児のカバンに入れてしまったため、所持品への記名がない場合はご記名いただけるよう保護者の方にもお願いしていくこととしました。		

受け付けた苦情等は、記載した事例の他にも、以下の天竜厚生会ホームページに掲載しております。
★URL：<https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/complaints/list/>



【お問い合わせ】
監査指導部 監査指導課
TEL:053-583-1424

善意の皆さま

ご 寄 付

ありがとうございます
◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 登呂の家
[8月]
井藤 晃男様
- さいわい
[9月]
吉林 徹三様
- 天竜ワークキャンパス
[10月]
株式会社森修焼様
- 百々山
[10月]
小林 広安様

ご 寄 贈

ありがとうございます
◎ご厚意に沿うべく、大切に活用させていただきます。

- 登呂の家
[11月]
吉田 倭子様

ボ ラ ン テ ィ ア

◎貴重なお時間を頂き
ありがとうございました。

共通

- 静岡県立浜北西高等学校 生徒会様

入所支援課

- 浜名
野口 めぐみ様
老川 裕美様
金城 光成様
小櫻 文丈様
- 浜北学苑
天竜おはなしの会様
縫製ボランティア様
元氣里山様
小杉 和郁様
- 清風寮
鈴木 政子様
野澤 直彦様
奥宮 祐子様
- みのり
静岡県立天竜高等学校様
和田 道男様
大石 尚美様

- 中澤 美江子様
村松 健次様
静岡県立天竜高等学校様
- 伊藤 さち子様
戸塚 孝司様
三室 弘充様
田中 圭子様
椋本 和子様
藤原 美登里様
武田 まさ様
鈴木 摩奈美様

- 天竜厚生会グループホーム
鈴木 ちあ様

- 百々山
平田 樹様
伊藤 公哉様
伊藤 蓮様
池田 昴輝様
池田 渚紗様
松本 恵子様
伊藤 静音様

- 翠松苑
大野 博志様
赤佐6区花の会様
長崎 邦子様
本榎 美智子様

- しんばらの家
有谷 まり子様
静岡県立浜北西高等学校様

- 天竜厚生会城北の家
吉田 たい子様
伊佐治 悦子様
高山 かつ子様
富田 廣子様

- さやの家
赤十字奉仕団 様

- しらいと
人穴浅間太鼓様
上井出スクールサポーター様
富士宮市民謡会様
やなぎの会様
静岡県立富士宮北高等学校様
静岡県立富士宮東高等学校様
静岡県立富岳館高等学校様
大原学園専門学校様
消防団20分団様
フラワーショップ蝶々園様
笠井 喜美子様
青山 秀子様

通所支援課

- やまびこデイサービスセンター
夢太郎・花子ファミリー会様
二胡天竜様
浜北笑いヨガクラブ ぴよぴよの会様
フラダンス フレア様
古橋 恒男様
中谷 克章様

- 龍山デイサービスセンター
浜松市立横山小学校様
- くんまデイサービスセンター
NPO法人夢未来くんま様
浜松市立熊幼稚園様
太田 さをり様
- しんばらの家デイサービスセンター
歌のポケット様
鳥居 勝馬様
ロゼラニ フラチーム様
遊弦楽団「鳳千華」様
積志寿大学院様
槇林 六花様
株式会社第一興商様
山口 英文様
笠井ハーモニカ同好会様
DFバンド様
- 天竜厚生会浜松デイサービスセンター
大石 ひろみ様
鈴木 弘美様
南部マジック会様
- 宮脇デイサービスセンター
石上 清様
後藤 昭様
- 登呂の家デイサービスセンター
高山 はるみ様
メロマーネ様

地域福祉課

- 地域福祉課
尾上 桜様
大平 乃与莉様
尾崎 文菜様
寺田 梓莉様
西村 萌百佳様
細川 風輝様
佐野 百香様
一杉 真菜様
鈴木 隆志様
ロハス ロベス アンヘラ パトリシア様
山下 侑子様
鈴木 峻耶様

子育て支援課

- 子育てセンターすぎのこ
小倉 啓子様
天竜おはなしの会様
柳澤 孝好様
若尾 加代子様
小出 喜道様
西村 晴子様
- 子育てセンターやまびこ
天竜おはなしの会様
小倉 啓子様
酒井 まち子様

- 子育てセンターこまつ
北嶋 史雄様
静岡県ボランティア協会様
浜松市社会福祉協議会様
一日保育ボランティア様
室内 房世様
- 子育てセンターしばもと
サマーショートボランティア様
チャレンジボランティア様
一日保育ボランティア様
鶴田 則子様
市川 良子様
河合 俊美様
森島 倫生様
渡瀬 和子様
松浦 信子様
鈴木 信貴様
岩崎 大地様
田所 圭介様
大原 弘樹様
大城 和也様
菊池 圭佑様
穴戸 恵子様
神谷 裕香様
貝原 多香栄様
森 美奈子様
太田 喜久子様
市川 初江様
三宅 君子様
鈴木 テル子様
大久保 利枝様
中谷 亜沙実様
松本 侑里様
松井 千夏様
村山 千早佳様
- 子育てセンターしんぱら
折金 早苗様
田坂 満恵様
金子 とみ子様
鈴木 幸枝様
小野 琇子様
松浦 信子様
大久保 利枝様
竹内 博之様
足立 香代様
サマーショートボランティア様
一日保育ボランティア様
チャレンジボランティア様
木下 和明様
JAとぴあ浜松鹿玉支店様
長嶋 由季子様
川上 節子様
河合 美代子様
青嶋 和子様
渥美 喜久子様
渡瀬 和子様
- 子育てセンターなかぜ
サマーショートボランティア様
一日保育ボランティア様
チャレンジボランティア様
渥美 京子様
渡瀬 和子様
保護者ボランティア様
鈴木 秀美様
荻野 宗子様
河合 明秀様
- 子育てセンターかきのみ
内山 啓子様
太田 礼子様
岩崎 嘉久様
- 子育てセンターみゆうのおか
おはなしの会様
一瀬 雅子様
株式会社フジイチ様
まる定園芸資材店様
チャレンジボランティア様
- 子育てセンターさやのもり
サマーショートボランティア様
梅田 昭好様
橘地区ボランティア様
おはなしのたね掛川様
運動会保護者ボランティア様
小柳津 喜美子様
- 子育てセンターひだまり
保護者会様
鈴木 和枝様
大井 保子様
和田 とし子様
西島 千恵子様
鈴木 金雄様
掛川市立東中学校様
池上 優美子様
落合 賢次様
園児保護者様
サマーショートボランティア様
- 子育てセンターとものもり
お話しのたね様
第五地区ボランティア様
中村 一雄様
平尾 紘様
樹山 俊博様
掛川市立西中学校区子ども育成支援協議会様
- 子育てセンターみなみしま
鈴木 美帆様
川島 厚枝様
徳山 晴夫様
- 子育てセンターとみがおか
えほんを楽しむ会様
井口 君夫様
宮野 愛様
花の会様
坂井 江美様
- すずかけっこ保育園
掛川おはなしのたね様
後藤 つま子様
- なぎさ保育園
湖西市ちよこっとボランティア様
すこやかファーム様
石田 正昭様
子ども読書アドバイザー青島智深様
佐々木 善之様
湖西市立湖西中学校1年生様
- やまびこ児童クラブ
天竜おはなしの会様
- ふたまた児童クラブ
天竜おはなしの会様
- みゆうのおか児童クラブ
天竜おはなしの会様
- こでまり
サマーショートボランティア様
- 天竜厚生会いとお
チャレンジボランティア様
- やまぼうし
内山 啓子様
- 子育てセンターにじいろ
山本 加代子様
平松 久美子様
浜野 直子様
黒柳 典子様
松本 紗也佳様
野沢 恵美様
岩瀬 一貴様
佐藤 貴美様
川瀬 優様
小坂 彩愛様
大村 瑠那様
小島 有佳様
鈴木 薫様
木野 瞳様
飯田 知沙様
和須津 見知様
荒野 裕佳江様
山崎 彩未様
佐藤 省二様
村上 牧様
森下 綾子様
渡邊 実可子様
鈴木 摩実様
安間 良子様
NGUYEN THI NHUNG様
田畑 眞那様
- 天竜厚生会いとめ
南部マジック会様
大石 ひろみ様

福祉サービス課

- 福祉サービス課
渡邊 寛菜様
静岡県立浜北西高等学校 家庭部様
静岡県立浜北西高等学校 演劇部様

モンゴルに車いすを寄贈しました！

天竜厚生会で中古品を整備し、モンゴルの特別支援学校に静岡県経済産業部を介して車いすを5台寄贈しました。



お礼の品をいただきました

介護福祉士実務者研修・喀痰吸引等研修のお知らせ

ご興味のある方は、天竜厚生会ホームページをご確認ください。

研修事業はこちらから!! ▶



介護福祉士実務者研修

介護福祉士を目指す方を対象に、介護福祉士実務者研修を開講しています

天竜厚生会の 実務者研修の ポイント

★スクーリングの講師の担当は、施設に現役勤務する係長・主任ケアワーカーや看護師です。実践例に基づく生きた学びを目指しています。

★受講生も様々な施設から集まる為、仕事の意見交換の場にもなっています。

★国家試験受験の為だけの研修ではなく、受講生にとって「実践で役に立つ研修」との声を多く頂いております。



令和6年度のご案内

日 程 【第1期】4月～10月予定/スクーリング：8月～10月
【第2期】6月～12月予定/スクーリング：10月～12月

内 容 自己学習の通信レポート提出の後、全8回のスクーリング

対 象 者 介護福祉士国家資格取得を目指す方

スクーリング会場 天竜厚生会研修センター
〒434-0015 浜松市浜名区於呂4201-6

受講料 無資格者/¥128,000
初任者研修修了者/¥96,000
※保有資格によって割引があります。

申込方法 募集開始と同時に、天竜厚生会ホームページ上でお知らせ致します。(2月頃募集開始予定)

受講生の声

- 研修で学んだことを、日々の業務の改善につなげることができ、とても良い機会になりました。
- 研修を通して、新たな知識を得たり、自信のなかった技術を改善したりできました。介護という仕事へのモチベーションが上がりました。

喀痰吸引等研修

介護保険施設や障害者支援施設等で勤務される介護職員等を対象とし、喀痰吸引等研修を実施しております。

受講生の声

- オンラインのため少し質問はしにくかったですが、リラックスして受講することができました。
- 実技が伴う授業は困難だったが、講義は目の前にパソコンがあるので動画なども見やすく便利でした。
- グループワークはオンラインでやったことがなかったので、新鮮でした。

令和6年度のご案内

日 程 6月～7月開始予定

内 容 基本研修(免除あり)、実地研修
講義では、喀痰吸引に関する制度や感染予防について、身体のしくみについて、吸引や経管栄養の手技の説明等を行います。

対 象 者 介護保険施設や障害者支援施設等で勤務する介護職員等
(※受講には条件がありますので、詳細は募集要項をご確認ください。)

会 場 天竜厚生会研修センター
〒434-0015 浜松市浜名区於呂4201-6

受講料 ¥75,000(基本研修より受講の場合)(税別)
別途テキスト代、実習費用等あり。

申込方法 募集が開始されましたら、天竜厚生会ホームページにて募集要項をご案内いたします。(2月頃募集開始予定)

お問い合わせ先

福祉サービス課 ☎053-583-1123 実務者研修担当：木田 喀痰吸引等研修担当：清水